

【施設状況】

グループ名称	母子生活支援施設											
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会							法人番号	5100005001689			
所管課	主	116000	子育て家庭福祉課		副							
構成施設	1505	母子生活支援施設(美和荘)										
施設分類	06	保健福祉2型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制		
施設概要	居室(10)・心理室・保育室・緊急一時保護室・事務室・静養室・集会室・学習室・浴室(ボイラー室)・倉庫・自転車置き場											
施設設置目的	児童福祉法に基づき、配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情にある女子とその児童を共に入所させ、これらの者を保護し自立促進のためにその生活を支援する。併せて退所したものについて相談その他の援助を行う事を目的とする。											
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、施設の設置目的を踏まえた施設となる事を目指す。											
主な実施事業	母子への日常生活、就労、養育、地域生活に向けた自立支援事業、児童福祉法38条に基づき実施。その他の事業として、各種行事、母親懇談会、避難訓練(毎月)を実施。 なお、施設の建て替えに伴い、指定期間を令和8年3月31日まで(5年間)を令和7年3月31日までの(4年間)に変更とし施設使用を終了。											

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				当該指定管理者の 指定回数	4 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和7年3月31日	4年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

No. 22

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	3	評価
	新規委託依頼世帯	世帯	1	5	3	1	33%		
	年間累計入所世帯数	世帯	60	55	32	16	50%		
		(特記事項) 施設の建て替えに伴い、指定期間を令和8年3月31日まで(5年間)を令和7年3月31日までの(4年間)に変更とし施設使用を終了。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・母子保護の実施に関する事 ・施設の運営に関する事 ・施設及び備品の維持管理に関する事 ・安全管理に関する事							
	自主事業	・地域向け子育て講座の開催 ・親子遠足			・地域貢献活動として住民の方に花火セットをお配りした。				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・職員は相談支援・母子支援に関する研修会へ積極的に参加 ・有資格者は専門の研修を受講しスキルアップに努めた							

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		4
	(2) 調査、会議等の内容 ・随時、入所者からの申し出を受付 ・年2回(9月・12月)に施設長面談を実施。入所者が責任者へ直接申し出る場を設けている。 ・意見箱の設置(H23.4月から実施) ・定期的に母親懇談会・子ども会にて意見聴取 ・年1回施設利用についてのアンケート調査			
	(3) 調査、会議等の結果 ・意見・要望は検討結果を入所者へ回答(母親懇談会で周知している) ・個別対応が必要な場合は申し出者と協議して対応している			
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・母親講座(整理・収納講座など)に関しては概ね好評だった。 ・母親からの希望で今年度より入所児童と調理実習を行い好評だった。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 特に無し			
	《対応措置》 特に無し			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
		指定管理料	33,832,000	指定管理料	32,171,851		雑(納付金)		雑(納付金)	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
		販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
		その他収入	14,000	その他収入	21,854		その他		その他	
	計	33,846,000	計	32,193,705	計	3,843,485	計	9,874,393		
	支出	人件費	24,532,000	人件費	24,781,914	歳出	指定管理料	32,171,851	指定管理料	32,579,916
設備管理費		1,086,000	設備管理費	882,973	委託料			委託料		
備品購入費		538,000	備品購入費	270,367	需用費			需用費		
修繕費		747,000	修繕費	0	役務費			役務費		
光熱水費		860,000	光熱水費	653,640	使用料・賃借料		82,748	使用料・賃借料		
事業費		1,010,000	事業費	487,119	修繕費			修繕費		
事務経費		5,452,000	事務経費	4,231,692	工事請負費			工事請負費		
本社経費		676,000	本社経費	676,000	備品購入費			備品購入費		
その他		210,000	その他	210,000	その他			その他		
計		35,111,000	計	32,193,705	計		32,254,599	計	32,579,916	
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	-1,265,000		0		差引	-28,411,114		-22,705,523		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									77.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 8名 所長1 母子支援員2 少年指導員2(内1名書記兼務) 心理士1 嘱託医(1) 臨時職員1		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	4
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	評価
	協定内容・指定管理者提案	3
	追加された内容、未実施の内容及びその理由 ・地区会議への出席・行事参加 ・災害時に地域に配布できるように防災用品等を備蓄 地域交流を目的とし、住民の皆さんに花火セットを配った。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 68
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	4	16	
地域連携	3	6	

評価理由	入所者の支援について、措置元の福祉事務所(市町村)と定期的な入所者(支援者)の状況報告などを行うことで、綿密な情報共有ができており、適切な支援が行われた。 「3 利用者評価」について、利用者の意見・要望を聞く機会を多く設けており、丁寧な対応を行い、また、利用者からの要望により利用児童と調理実習を開催するなど柔軟な対応を行ったため「4」とした。 「6 危機管理体制」について、防災訓練を毎月実施し、防犯カメラの設置や暗証番号のドアロックの導入など、確実なセキュリティ対策が図られていると共に、入所者の状況に応じて追いかけ等の危険がないかを意識した対応をしていたため「4」とした。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	様々な要因により生活に困難を抱えている母子が増加している社会情勢の中で、これらの母子の安全を確保し、安心して生活できる場として必要性が高い施設であるが、建築後50年近くが経過し、老朽化が著しいうえ、耐震性が不足していることから、入所者と職員の安全を確保するため、施設のあり方について、早急に今後の方向性を決定する。そのために必要な関係課及び指定管理者との協議を進めていく。	関係課及び指定管理者と協議を行い、今後の施設のあり方について検討し、現地での改築を決定した。	
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・令和7年度 実施設計、解体工事 ・令和8・9年度 建設工事(令和9年度下半期に新施設での運営開始)※施設休止期間を2年6か月とする ・新たな指定管理者選定に向けた関係機関との調整		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・有資格者は研修を受講しスキルアップに努めており、支援力を養うように努力した。
- ・アフタフォローの充実
アフタフォローに関する委員会を立ち上げ、退所に向けての支援計画書、退所後支援計画書、対象者リストを作成している。
退所後、数年に渡り支援する家庭が増加しているため、問題が大きくなる前に対応し解決が図れるよう努めている。
退所後、5年以内の世帯へ年2回ハガキを郵送すると共に、フードバンクなどの食料支援も行っている。
- ・入所者の状況に合わせた勤務体制の見直し
平日に仕事をしている母が多く平日の面談が困難であるため、土日に面談等を行えるように、職員勤務の見直しを行った。
よりきめ細かい支援を行うため、入所者の担当を2名に増やし対応した(金銭管理担当、養育担当など)

② 業務の効率化に対する取組み

- ・支援の充実と効率化を目的に、職員の業務内容と分担を全職員で見直しをした。
入所者の状況に合わせて効率的に入所者と面談を行えるように、勤務体制の見直しを行った(土日勤務数を2人から3人に増やし、平日の勤務人数を減らした)

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

平成23年度の耐震診断結果から継続的に施設整備について申し入れをしてきて、ようやく現地建替えと言う結論が出たが、その間結果的には倒壊するような災害が発生せず、入居者、職員の生命に問題となるようなことはなかった。しかしながらこの間入居者、職員の不安は続いてきたことには変わらない。今後このような課題がある場合は早急な対応を求めたい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

A

① 評価理由

10数年にわたる施設整備について結論が出たため。
令和6年度末で事業が終了することに伴い、入居されていた方への移行支援が滞りなく実施できたため。

② 次年度以降の取組み